

# とうきょうすくわくプログラム

## 活動報告書



### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育 出前授業

<テーマの設定理由>

日頃から身近で大切な「食」に注目し、「食育」×「出前授業」をテーマとして設定。五感が発達している未就学の時期に「食」に関する知識を身につけ、農業が持つ教育的な価値と様々な体験が得られるようにする。体験を通じて、「食べる」と「つくる」を繋げることで、子どもたちの好奇心や感性を高め、健全な生活を期待する。素手で土に触れる機会が少なく、スーパーで並んでいる規格基準を満たしている野菜しか見たことのない子どもも多いので、出前授業の中で野菜のことや大切な「食」に対する関心を高める機会にする。

### 2. 活動スケジュール

2024年12月、2025年2月

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

2月①ペン、色鉛筆 ②スタンプ台 ③ハガキ、画用紙

④野菜の切れ端 オクラ/ピーマンの頭の部分/葉物の芯（小松菜やチンゲン菜など）

⑤机カバー、新聞紙 ⑥手拭きタオル ⑦テーブル

12月、2月 50cm×50cm以上の机一台（食育スタッフ使用）

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

12月1) 野菜にさわってみよう!

2) 紙芝居「ありがとう、いただきます」

3) 野菜クイズ

2月1) 野菜にさわってみよう!

2) 紙芝居「はたけでしゅうかく」

3) 野菜スタンプ

<活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

“12月 かぶを人数分に切り分け、ひとり一人が手に取った。感触を確かめ、匂いを嗅ぎ、感じたことを言葉で表現し近くにいる友だちと共有していた。講師が茎を折ってみると子どもたちも真似をして「ポキッ」と折れる音に歓喜の声が上がった。その日の給食に、かぶの汁物が提供され、保育者と一緒に食育のかぶを思い出しながら喫食した。

2月 講師が子どもたちの前に立つと、講師を覚えていて「くにちゃんせんせい！」と複数の子どもたちが呼んだ。前回の活動がとても印象深かったのだと感じた。小松菜や青梗菜、レンコンなどを用意した野菜スタンプでは、予定していた時間を超過して楽しんだ。2回の授業だったが、対象を異年齢にしたことで2歳児は3歳児を手本に参加する姿が見られた。

また、雰囲気の違いに戸惑う子どもは保育者と一緒に行った。”

### 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

一人ひとりに野菜を手渡すことで、子どもたちも分かりやすくテーマの通り五感を刺激する活動ができた。家庭で「やさいはおなかのなかをきれいにするんだよ」など、活動について話をしてくれた、と保護者からのお話もあり、保護者からも喜びの声をいただいた。身近なテーマ、素材の活動は2.3歳児にも興味や関心が沸き、それが4.5歳児の食育活動に連続性が持ちながら活動に広がりを持つのでとても良いと思った。